



野原 智 議員

池田町の施設管理は

池田町には、図書館・体育館・公民館等の池田町職員が配置された施設、もしくは大津谷公園・霞間ヶ浜・池田公園等の管理者が張りつけない施設も有る。

各施設の利用者状況は。

町長

5月の10連休についての施設の利用状況は、

総合体育館

アリーナ 5,063人

スポーツ公園 490人

池田温泉

本館 1万677人

新館 1万6,320人

と利用者数が前年より増加している。

大津谷公園キャンプ場は5月4日がピークで、テントが320張り、車の台数は460台、人数は2,000人を超えていた。

バーベキューガーデン

は、4月が515人、5月が836人と増えてきている。大津谷公園等でキャンプした人たちの多くが、早朝に温泉を利用していた。

キャンプ場等の施設に対しての要望は有ったのか。

町長

まき・炭・着火剤等の販売の要望は有ったが、炭は一週間以上置いておくと、しけてしまつて使えなくなるので断念したと聞いている。

大津谷公園キャンプ場は、10連休中利用者であふれ、公園内にテントが張れず隣接の私有地にテントを張る人、また駐車場が満車で道路に駐車する人もあつて、お茶収穫作業の邪魔になり近隣住民に迷惑をかけていた。

以前、キャンプ場を有料にしてはとの意見もあつたが、責任のリスクが多いので検討する事になつていた。

現在、近隣住民は迷惑して

いて、地元ではキャンプを禁止して欲しい人もいる。今後、池田町としてはキャンプ場を有料にするのか、町にとって有益な施設として変えていくのか、町の方針は。

町長

大津谷公園の施設は、河川を整備し水辺環境も良くなり、公園内のトイレも整備してきれいになった。キャンプ場で長期間遊べる状況がゴミ等で広がり、たくさんの方が来るようになった。この様に良い面も有るが、トラブルも出てきた。

ふれあい街道から上の部分は、車が私有地に侵入しないようにロープを張る、柵をする等の対策をとっている。

多くの皆様が来てくれる事も大切であると思うが、料金を徴収する事も考え、ある程度規制も必要になる。

将来的には、整然とした駐車・テント張りをする場所を確保して、利用する人が気持ちよく来て気持ちよく帰っていく場所にしていく。

キャンプ場の維持管理をす

る為には、それ相当の利用料金の徴収も必要になってくる。

町への要望

大津谷公園・霞間ヶ浜公園等は、来園者が多いほど地元の住民に迷惑が掛かる事が多くなる。

来園者に喜ばれ、地元の方々にも喜ばれる様な良い計画の策定をお願いしたい。



大津谷公園キャンプ場 ごみ状況